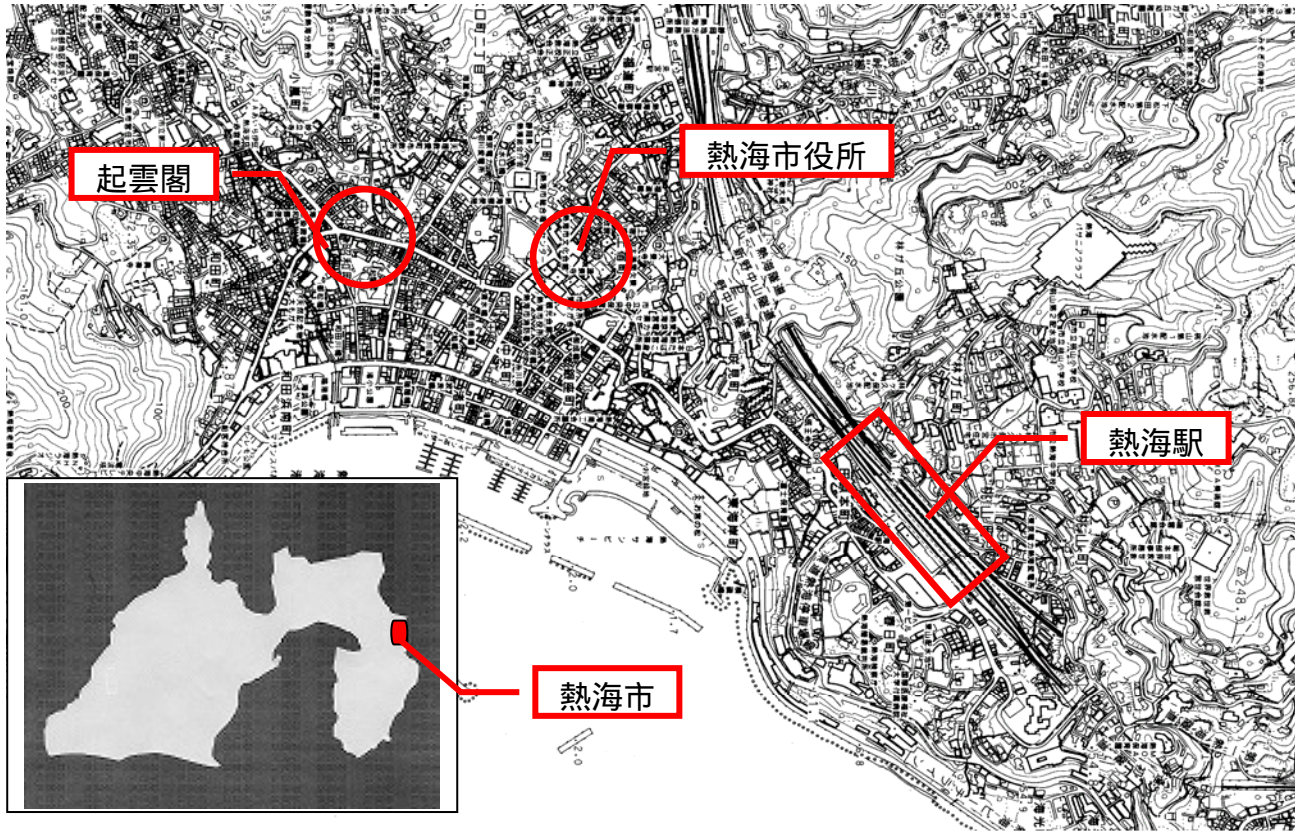


観光社会資本の事例

テーマ	熱海らしさを表現する文化の香り高い歴史的建造物「起雲閣」	
【施設の状況写真】		
<p>四季折々の美しい自然が織り成す庭園は、人々に安らぎを与える空間となっている。</p>	<p>起雲閣の文化や歴史に触れることができる常設展示。</p>	
		
【施設の利用写真】		
<p>市民や観光客で賑わう特別展。</p>	<p>大正・昭和の浪漫あふれる邸内から庭園の眺めを楽しむ観光客。</p>	
		
【観光資源としての利用状況】		
<p>起雲閣は、新たな熱海の顔として文化や観光の拠点の一つとなっています。美しい日本庭園や、大正・昭和の歴史の趣を抱く建築は、訪れた人たちに静かでゆったりとした時間を提供しています。</p>		
<p>現在、耐震補強工事、バリアフリー工事等を実施中</p>		

テーマ	熱海らしさを表現する文化の香り高い歴史的建造物「起雲閣」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 起雲閣</p> <p>所在地 静岡県熱海市昭和町 4 番 2 号</p> <p>事業名 まちづくり総合支援事業 まちづくり交付金事業</p> <p>事業主体 熱海市</p> <p>事業期間 まちづくり総合支援事業(平成 14 年度～平成 15 年度) まちづくり交付金事業 (平成 16 年度～平成 20 年度)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>文化財としての起雲閣</p> <p>1919(大正 8)年に別荘として築かれた起雲閣は、1947(昭和 22)年に旅館として生まれ変わり、日本を代表する文豪たち(志賀直哉、谷崎潤一郎、太宰治など)にも愛されました。市街地とは思えない緑豊かな庭園や日本、中国、欧州などの様式を取り入れた独特の雰囲気を持つ建造物であり、熱海市指定文化財として未来に継承されるものです。</p> <p>地域交流施設としての起雲閣</p> <p>2000(平成 12)年に熱海市の所有となった起雲閣は、展示会やセミナー、会合等の場として施設の貸し出しも行っており、人々の交流、ふれあいの場として利用されています。</p> <p>「起雲閣を中心とした中心市街地の活性化を目指す」という整備目標による起雲閣の整備・都市計画道路の修景・渚小公園の再整備・親水公園第三工区への接続デッキ等の事業により、快適な歩行者ネットワークの整備を行い、熱海の魅力と活力、にぎわいの創出を目指しています。</p> <p>来館者数</p> <p>(平成 12 年 11 月 28 日開館～12 年度末)・・・25,000 人</p> <p>(平成 16 年度) ・・・74,000 人</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 熱海市 http://www.city.atami.shizuoka.jp</p> <p>起雲閣 http://www.kiunkaku.com</p>	